

MRI検査における注意点

MRIの撮影室は、常に磁場が発生しており、入室に関しても様々な制限があります。また、狭いトンネルの中に入ることや、造影剤を使用することでの副作用の可能性もあります。今回は、そういったMRI検査における注意点について、ご紹介させていただきます。

①体内金属

MRI検査において、手術等で体内に置かれた金属は画質を低下させる画像の歪みになったり、発熱による火傷の危険性や精密機械の破損の可能性があります。

原則検査禁止：心臓ペースメーカー・除細動器(ICD)・人工内耳・カプセル内視鏡

※現在MRI対応のペースメーカーやICDが発売されております。当院では、聖隷浜松病院にてMRI対応のペースメーカーやICDを埋め込んだ方のみ、厳重な管理のもと、検査することが可能です。

検査をご希望される場合は、一度地域医療連携室まで、お問い合わせください。

検査時要注意：人工関節・クリップ・ステント・入れ歯・歯科矯正など上記以外の体内にある金属

※必ず、検査時の問診表への記入をお願い致します。また、**磁石を使った入れ歯(インプラント)**がある方はお申し出ください。磁石が壊れる可能性があります。



②閉所恐怖症

MRI検査では、直径約60cmのトンネルの中に短くても15分、長いと60分以上入ったまま検査することがあり、閉所が苦手な方にとっては大変苦痛な時間となってしまいます。当院には**直径約70cmのトンネルで、広くて明るいワイドボアというタイプの装置が2台**あります。狭いところが苦手な方は、遠慮無くご相談ください。

また、上記2台の装置は、SILENT SCANという、ほとんど音がしない撮影も可能です（頭部の標準的な検査のみで、検査時間は長くなってしまいます）。MRI特有の騒音が苦手な方は、ご相談ください。

③喘息の既往

MRI検査では、病気を検出したり、性質をより詳しく診断するために、造影剤を使用することがあります。

しかし、稀にですが、かゆみや蕁麻疹、吐き気など副作用が生じることがあり、**喘息の既往がある方は、そのリスクが他の方よりも高くなるため、原則使用しません。**

喘息の既往がある方は、必ず問診表への記入をお願い致します。



現在の予約状況

（緊急検査は随時対応致します）

《CT》 即日対応可

《PET》

翌平日対応可

《MRI》 約1週間以内

《放射線治療》

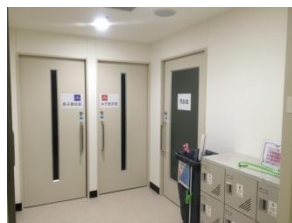
随時受付中

MRI待合室・更衣室リニューアル

◆ MRI待合室は広くなり、更衣室もきれいな部屋へと生まれ変わりました。



待合室



更衣室

ご予約・お問い合わせ
地域医療連絡室（JUNC）まで



0120 - 107 - 352

受付時間

8：30～19：00（月～金）

8：30～13：00（土） ※日祝日は休み